



所報 いぶり

第1号

CONTENTS

- 所長挨拶・所員紹介
- 研究所の事業について
- 胆振教育研究所退任者挨拶



所員紹介

所

胆振教育研究所所長として3年目となりました登別市立富岸小学校長の安宅です。本教育研究所の使命は、胆振管内各小中学校の教育課題に応じた、教育の理論と実践に関する研究を行い、その成果を子どもの指導にあたっている現場の先生方に直接還元して、指導方法の改善や教員の資質向上を図り、胆振の教育の進展に寄与することにあると考えております。

長

挨拶

挨拶

今年度も、「共同研究」という形で研究委託校・実践校の全面的な協力を得ながら、各関係機関との連携を密にして、管内的な視野に立った各種事業を推進することにより、胆振管内の教育の一層の充実に向けて、所員一同、鋭意努力して参ります。ご支援ご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

所長 安宅 錦也 (登別市立富岸小学校) 所員 増永 真衣 (伊達市立光陵中学校)

副所長 高島 康範 (伊達市立伊達中学校) 所員 岡元 優 (登別市立緑陽中学校)

事務局長 竹迫 慎司 (伊達市立伊達中学校) 所員 手塚 隆 (登別市立幌別小学校)

事務局次長 宮村 直人 (伊達市立伊達小学校) 所員 西多 俊 (登別市立鷺別小学校)

所員 牛島 夏陽 (伊達市立東小学校) 事務職員 水留 恵美子

所員 齋藤 翼 (白老町立白老小学校)



胆振教育研究所の事業

企画・運営

研修講座

カント・レラ
7月27日(水)
実施予定



現職のニーズに応じ、指導力の向上につながる講座を企画していきます。

ミニ道研

「道徳と学級経営」

登別市民会館
12月26日(月)
実施予定



作成・提供

刊行物・紀要

○今日的な教育課題等を踏まえ、日々の教育活動に結び付く実践的な研究を進めています。

○各校の実践により役立つような紀要等の発行に努めてまいります。ぜひ、ご活用ください。



2月
発行予定

合同委員会

本研究所の研究推進計画の説明や研究委託校・実践校の研究の概要、研修推進の課題・成果について交流していきます。



第1回
5月23日(月)
実施

第2回
11月21日(月)
実施予定

教育いぶり 年2回

研究委託校・実践校の特色ある教育活動や優れた取組、本研究所の活動内容をわかりやすくお伝えしていきます。

広報活動

所報いぶり
年5回

ホームページ 随時更新
<http://www.iburi-education.jp/>



所員訪問

研究委託校 ・実践校との連携

研究委託校・実践校の研究にかかわって、共に学び、情報の提供を行います。

共同研究

校内研修
・公開研究への
参加・協力



随時

胆振教育研究所

～所員研修会～
事業の検討・実施
所員10名

～場 所～
カント・レラ (4月～11月)
登別市民会館 (12月～3月)

カント・レラの閉鎖に伴い、年度途中で登別市民会館に場所を移すことになります。

支えていただく9市町

- 登別市 ●伊達市 ●豊浦町 ●洞爺湖町
- 壮瞥町 ●白老町 ●安平町 ●厚真町 ●むかわ町

理事会

9市町教育長で構成。研究所の組織運営に関することを決定します。

運営委員会

各市町教育研究会の代表者、胆振教育局、へき地複式教育連盟代表者、社会教育代表者で構成。各事業推た支援など、研究所と各市町や関係機関を結ぶ役割を担っています。必要に応じて開催します。



研究所退任者挨拶



「研修の大切さの再認識」

前副所長 苫小牧市立和光中学校校長 工藤 弘



2年間、胆振教育研究所の研究にかかわり、多くの学校の研修について知る機会をいただきました。そして、児童生徒の健やかな成長を願って、様々な課題に取り組みながら、今日、求められている「生きる力」を育てていることを実感しました。学校は、多くの課題と期待、挑戦しなければならないことがあります。個々の学校では、これらのことの対応が遅れることがあると思います。そこで、胆振の小中学校が協力し合って、各学校の情報を持ち寄りながら研修することの大切さを再認識しました。

今後とも、胆振教育研究所の研究についてご理解をいただき、ご活用していただければ幸いです。これまでのご支援に感謝申し上げます。

前事務局長 むかわ町立穂別中学校教頭 永井 修



胆振教育研究所の所員として過ごした4年間。多くの方々との出会い、貴重なご助言を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。また、研究委託校・実践校への訪問や研修講座等では、子どもたち一人一人の今と未来を思い、真摯に、学ばれる先生方の姿に胸が躍りました。学び続けることは教師としての使命であり、これからの社会を担う子どもたちに対する心意気であると感じております。

これからも所員としての経験を生かし、管内教育の発展充実のため、努めてまいります。大変お世話になり、ありがとうございました。

前所員 登別市立幌別中学校教諭 松村 城裕



この度、2年間の任期を終え、胆振教育研究所の所員を退任することになりました。短い期間ではありましたが、研究所での活動はすべてがとても新鮮であり、日頃なかなか得ることのできない貴重な経験をすることができました。特に、管内の先生方の様々な実践に触れ、学べたことは私の素晴らしい財産になりました。

これからは所員としての経験を生かし、胆振管内の教育に寄与できるよう努力していきます。在任中お世話になりました関係各所の皆様、本当にありがとうございました。



前所員 苫小牧市立北光小学校教諭 伊藤 圭太



胆振教育研究所の所員として研究の機会を得られたことは、自分にとってかけがえのない素晴らしい経験となりました。多くの方々との出会い、貴重なご助言を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。また、研究委託校・実践校への訪問では、真摯に子ども達と向き合い、研修で熱い議論を交わす先生方に感銘を受け、「学び」への思いがより強くなりました。

これからは、所員としての経験を生かし、実践や研修に努めてまいります。本当にありがとうございました。



前所員 石狩市立花川小学校教諭 山下 亘



2年間という短い期間でしたが、胆振教育研究所の一員として、管内の先生方の様々な実践に触れると同時に、たくさんの熱意ある先生方と出会えたことに感謝をしています。先生方の子どもに接する姿や研究に向かう姿勢など、多くのことを学ばせていただきました。

今後は、これらの経験を生かし、胆振管内の教育に寄与できるよう努めてまいります。在任中お世話になりました関係各所の皆様、本当にありがとうございました。



発行所 胆振教育研究所 TEL・FAX 0143-80-3100 ホームページ <http://www.iburi-education.jp/>
〒059-0551 登別市登別温泉町123-1 のほりべつ文化交流館カント・レラ2階

発行者 安宅 錦也

印刷所 (有) 村上印刷 伊達市錦町95-1 TEL0142-23-2625 E-mail murakamiprinting@amber.plala.or.jp